

# 学校いじめ防止対策年間計画

□:教師の活動 ○:児童生徒の活動 ◇:保護者の活動

学期	月	取組内容	指導のポイント
1 学 期	4 月	□:学校間、学年間の情報交換及び指導記録の引継ぎ □:指導方針及び指導計画等の策定と共通理解 【いじめ防止対策委員会・職員会議】 □・○:学級開き(人間関係づくり・学級のルールづくり) 【始業式・学級活動】 □・◇:保護者へ『いじめ防止対策』に向けた取組説明及び啓発 【学校だより】	・いじめの被害者、加害者の関係を確実に引き継ぐ。 ・全校体制で指導するためにも共通理解を図る。 ・学校がいじめ問題について本気で取組む姿勢を児童や保護者に示す。
	5 月	□・○:運動会をとおした人間関係づくり□ 【学年行事・体育・学級活動】	・係活動、グループ編成等、児童の活動の場面に留意が必要である。
	6 月	○:Q-U調査の実施と活用 □・○:教育相談の実施 【学級活動】 ○:話し合い活動『学級の課題について』 【学級活動】 □・○:いじめ調査<生活アンケート>の実施と活用 【学級活動】	・6月は児童の人間関係に変化が表れやすい時期である。 ・1学期の折り返しの時期にあたり、学級の課題を教師と児童が共有し、今後の活動に活かしていく。
	7 月	□・○:話し合い活動『1学期の振り返り』 【学年・学級活動】 □:1学期の生活指導の振り返り	・1学期の活動を振り返るなかで、いじめ防止対策の点検を行う。 ・1学期を振り返り、生活指導上の課題を教師間で共有し、次学期へつなげる。
2 学 期	8 月	□:いじめや教育相談等に係る研修会への参加 【夏季研修会等】 □:Q-U調査の分析と共通理解 □:2学期の生活指導について共通理解 【職員会議】	・いじめや教育相談等についての研修を深め、今後の指導に活かしていく。
	9 月	□:夏休み明け児童の様子把握 □・○:いじめ調査<市教委>の実施と活用 【学級活動】 □・○:教育相談の実施	・夏休み明け、児童の様子の変化に注意する。
	10 月	□・○:学校行事(自然教室・修学旅行等)をとおした人間関係づくり 【学年・学級活動】 ○:Q-U調査の実施と活用 【学級活動】 □・○:校内いじめ防止標語のとりくみ(いじめ防止のぼり旗を使って) 【学級活動】	・行事に向けて、活動中の児童の様子に十分気を配る。 ・児童が主体となって活動できるよう、活動意欲と自覚を促す支援をする。
	11 月	○:話し合い活動『学級の課題について』 【学級活動】 □・○・◇:『教育活動に関するアンケート』の実施 【アンケート】 □・○・◇:人権教育授業公開の実施の実施	・2学期の折り返しの時期にあたり、学級の課題を教師と児童が共有し、今後の活動に活かしていく。 ・児童・保護者の意見を聞き、点検活動につなげる。
12 月	□・○:話し合い活動『2学期の振り返り』 【学年・学級活動】 □:2学期の生活指導の振り返り 【職員会議】	・2学期の活動を振り返るなかで、いじめ防止対策の点検を行う。 ・2学期を振り返り、生活指導上の課題を教師間で共有し、次学期へつなげる。	
3 学 期	1 月	□:冬休み明け児童の様子把握	・冬休み明け、児童の様子の変化に注意する。
	2 月	□・○:いじめ調査<生活アンケート>の実施と活用 【学級活動】 □・○:教育相談の実施 ○:話し合い活動『学級のまとめに向けて』 【学級活動】	・様子の変化については、教師間で共通理解を図る。 ・新年度の学級編成に向け、人間関係に不安を感じ訴えてくる児童の声を拾う。
	3 月	□・○:話し合い活動『一年間の振り返り』 【学級活動】 □:指導記録の整理、進級する学年への引継ぎ資料の作成 □:指導方針及び指導計画の点検と申送り 【いじめ防止対策委員会・職員会議】 □:小中連絡会の実施	・いじめに関する情報を確実に引継ぐための資料を準備する。 ・教師による教育活動の反省を参考に、次年度に向け、指導の準備を進める。

※この他毎月1回の「児童報告会」及び「校内登校サポート・いじめ対策委員会」を実施